

e ラーニング

グループ名： NHS トリオ _____

事後テスト

問 1、 経営幹部の役職のうち、情報システムを統括する最高責任者はどれか。

()

ア：CEO イ：CFO ウ：CIO エ：COO

問 2、 SWOT 分析で用いる四つの視点のひとつである“脅威”になり得る事例はどれか。

()

ア：家電メーカ A 社：技術力の低下によって、新製品開発件数が減少している。

イ：自動車販売会社 B 社：営業員のモチベーションが以前に比べて下降気味である。

ウ：ブランドショップ C：ブランド高感性が下がってきている。

エ：輸出企業 D 社：為替レートが円高基調で推移している。

問 3、 経営戦略が策定され、その戦略の一つに“営業部門の組織力強化”が掲げられていた。

この戦略を実現するために情報システムとして、適切なものはどれか。

()

ア：MRP システム イ：POS システム ウ：SCM システム エ：SFA システム

問 4、 ソフトウェア開発モデルの一つであるウォーターフォールモデルの記述として、適切なものはどれか。

()

ア：オブジェクト指向開発において、設計とプログラミングを何度か行き来し、トライアンドエラーで改良していく手法である。

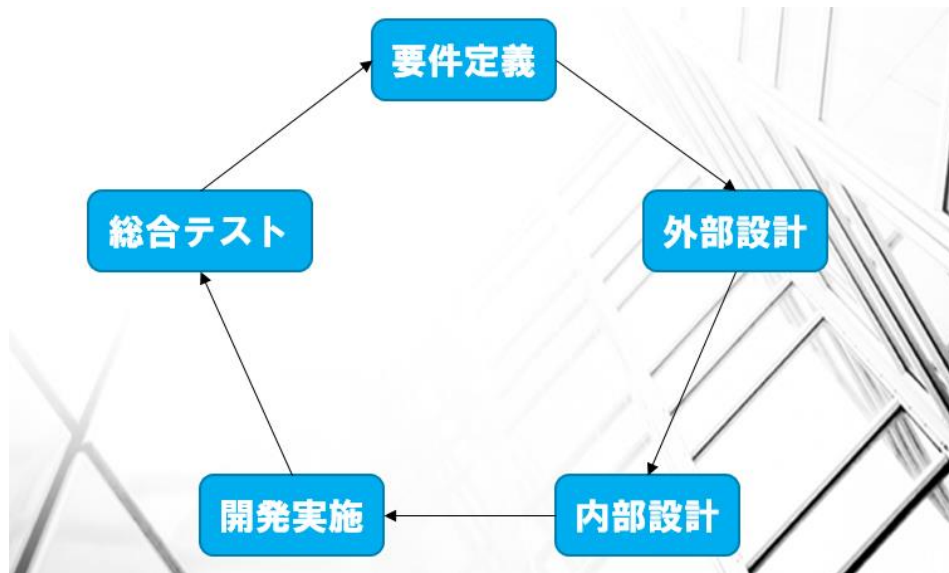
イ：サブシステムごとに開発プロセスを繰り返し、利用者の要求に対応しながら改良していく手法である。

ウ：システム開発の工程を段階的に分割し、前工程の成果物に基づいて後工程の作業を順次進めていく手法である。

エ：システム開発の早い段階で試作品を作成し、利用者の意見を取り入れながら要求や仕様を確定する手法である。

問 5、図のように、改良及び機能追加を繰り返すことによって利用者の要求の変動に柔軟に対処したシステム開発を行う開発モデルはどれか。

()



ア：ウォーターフォールモデル

イ：再利用モデル

ウ：スパイラルモデル

エ：リエンジニアリングモデル

問 6、メールシステムに関するサービスマネジメントの PDCA サイクルのうち、C(Check)に該当するものはどれか。

ア：メールシステムの応答時間を短縮するために、サーバ構成の見直しを提案した。

イ：メールシステムの稼働率などの目標値を設定し、必要な資源を明確にした。

ウ：メールシステムの障害回数や回復時間を測定して稼働率を算出し、目標値との比較を行った。

エ：メールシステムの設計内容に従って、ファイルの割当てなどのシステムのセットアップ作業を実施した。

問 7、コンピュータを構成する一部の機能の説明として、適切なものはどれか。

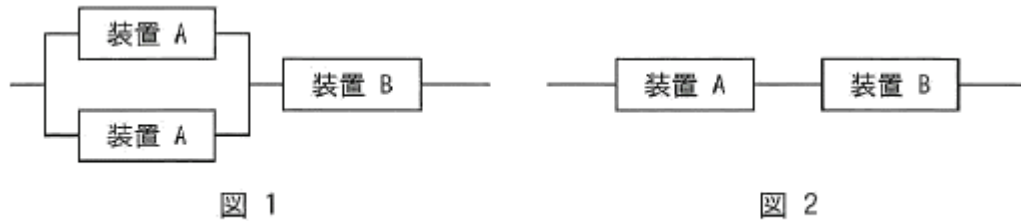
ア：演算機能は制御機能からの指示で演算処理を行う。

イ：演算機能は制御機能、入力機能及び出力機能とデータの受け渡しを行う。

ウ：記憶機能は演算機能に対して演算を依頼して結果を保持する。

エ：記憶機能は出力機能に対して記憶機能のデータを出力するように依頼を出す。

問 8、図 1 のように稼働率 0.9 の装置 A を 2 台並列に接続し、稼働率 0.8 の装置 B をその後に直列に接続したシステムがある。このシステムを図 2 のように装置 A を 1 代にした場合、システムの稼働率は図 1 に比べていくら低下するか。ここで、図 1 の装置 A はどちらか一方が稼働していれば正常稼働とみなす。なお、稼働率は小数点第 3 位を四捨五入した値とする。



- ア : 0.07
- イ : 0.09
- ウ : 0.10
- エ : 0.45

問 9、プロトコルに関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア : HTML は、Web データを送受信するためのプロトコルである。
- イ : HTTP は、ネットワーク監視のためのプロトコルである。
- ウ : POP は、離れた場所にあるコンピュータを遠隔操作するためのプロトコルである。
- エ : SMTP は、電子メールを送受信するためのプロトコルである。